

第1回

[日 時] 平成28年6月18日（土）18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学2号館 3階2301教室

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう パート2

- 世界に誇れる『あいさつ・清掃・ゴミ拾い』を目指して -

[使用したテキスト]

・『耕人』H28_1.pdf（塾長から塾生へのメッセージ：第1号）

塾生も含めて、指導委員（教員や民間の方）・指導補助員（大学生）、さらに保護者や兄弟姉妹を含めて、74名の参加がありました。

1 挨拶および趣旨説明（塾長）【10分】



石巻地域をもっともっと良い地域にしたいという思いで耕人塾を始めた。大震災では多数の人が亡くなった。亡くなられた方々への思い、その方のためにも石巻地域をよりよいものにするという誓いで黙とうを捧げたい。

耕人塾では「人間力を磨き、地域社会に貢献する人材育成」を目指している。また大学生や市民の学びの場にしたいと思っている。

指導指針としては、「1.社会貢献への高い『志』をもたせる。2.人間的な幅と深さを身につけさせる。3.自然や郷土愛する心を育て、礼儀作法を身につけさせる。」の3点を考えている。

幕末の志士橋本左内は、15歳の時に「志とは自分の生き方の決意を固めること」という五か条を「啓発録」に書いた。塾生のみなさんも、橋本左内のように「『志』を立て、新たな自分をつくっていく」ために、ともに歩みだしていこう。

2 活動計画とテーマ学習の進め方、心構え（平塚）【15分】



卒業したこれまでの塾生は、「協力、思いやり、感謝する心、行動力、挑戦の心、ものの見方、いろいろな考え方など」を、耕人塾で学ぶことができると書いた。ぜひ耕人塾で多くの学びを達成してほしい。そして自分がどう世の中の役に立つかを考えてほしい。「他人事を自分事に、他人の喜びを自分の喜びに」してほしい。耕人塾では、「あいさつ・清掃・ごみ拾い」を実践活動の柱にする。当たり前のことを当たり前にするだけでなく、当たり前のことを素晴らしくやろう。そして、世界に誇れる石巻にしようと呼びかけた。

3 出合いのつどい【20分】 担当：前田



「所属・名前・アピール・耕人塾でがんばること」について、各自で画用紙にまとめ、各班で発表するアクティビティを行った。指導委員のアドバイスのもとに、それぞれが主体的に動き、初めてのもの同士で自己紹介を積極的に行った。塾生としての仲間意識を高めることとなった。

4 講話「石巻をみつめて」（45分）



講師：鈴木省一氏（写真業／漁師見習い）

神奈川県座間市出身。震災前は東京で仕事をしていた。震災前は石巻をよく知らなかった。キャンプ座間には米軍基地がある。隣には厚木飛行場がある。自分の街が大嫌いだった。埼玉の大学に進学し、一人暮らしを始めた。1年生の頃に写真に熱中した。薬品を使ってネガを現像する体験は興奮するものであった。サラリーマンにはなろうと思わなかった。写真部だった仲間と二人で東京で一緒にカメラマンの修業をした。フリーランスで仕事をしていた。都会の生活に疲れ切っていた。どこか地方で、どこでどんな生き方をするのかということを考え、震災後、できることがあればという思いで石巻に来た。

雄勝の写真 炊き出しのボランティアをした。津波の被害を目の当たりにした場所が、雄勝だった。この光景を見て何ができるんだろうと呆然としてしまった。どういう場所だったのか、想像できなかった。ここが少しでも良くなっていくことにかかわり続けたいと思った。他人事ではなく自分事という平塚先生の言葉があったが、私もその時他人事であった。しかし、自分の事としたいと考えた。お金が続くだけはいたいと思い、2か月石巻にいた。2か月後にボランティアを受け入れる団体の仕事をしながら、石巻の復興に関わってきた。花を植えたいという方がいて、私も協力したいと思った。人の手で何ができるかわからなかった場所に、花を咲かせることで色づかせることができた。今でも雄勝の方々と関わらせていただいている。

朝の石巻の風景を撮り始めた。2013年の1月からほぼ毎日日の出前の石巻の風景を撮ってきた。いろんなところで写真展もやっているが、石巻の現状と変化を写真で伝えようと考えてやってきた。もう少し深く考えてもらいたいという願いから、薄暗くてわかりづらい写真を通して伝えようとしてきた。

日和大橋の寒い写真、今の南浜の写真、南浜の写真を撮ることをためらったこともあった。たくさんの方が亡くなられた場所であるが、写真を通して植物が新しい命を生み出しているそのすばらしさを希望という写真によるメッセージで伝えたいと思っている。

漫画館の向かい側にあった最後のアーケードがあった場所の写真。変化していく街の歴史を記録として撮っていきたいと思っている。

今回の話を機に、自分の故郷のことを考えた。自分の街のことを知らない自分に気づいた。もったいないことだと今では思っている。

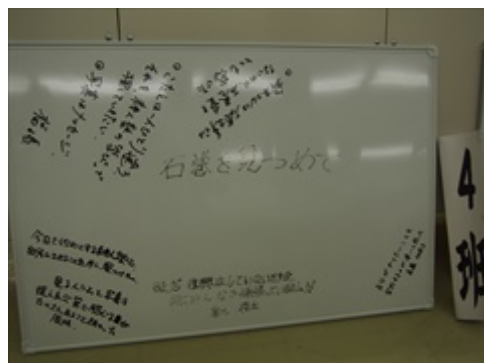
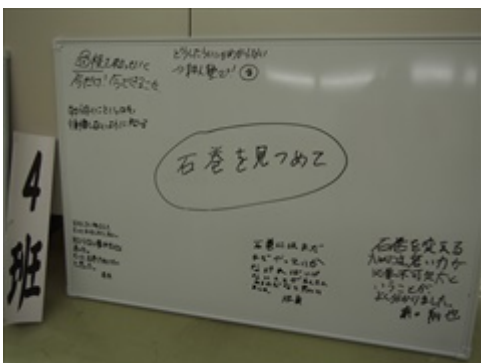
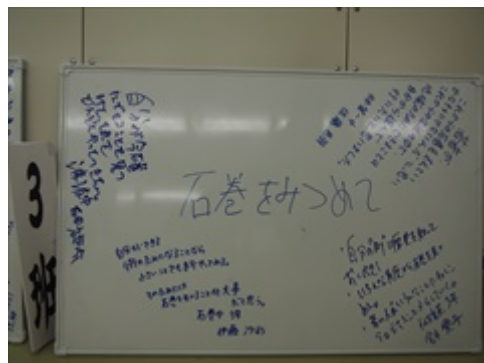
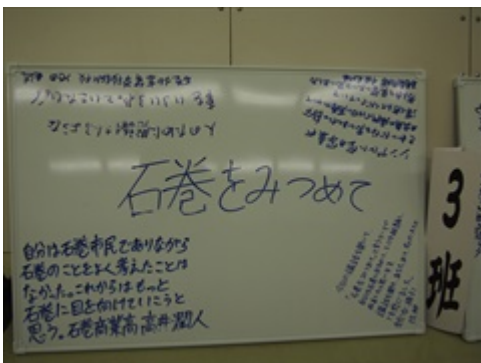
石巻を撮り続けている。石巻の素晴らしさを話そうと思っていた。正直、おしえてほしいなあという思いもある。海と山がすごく距離が近い感じがする。ぜひ、自分で何かをみつけてほしい。震災後5年が過ぎ、石巻は動き始めている。ぜひ、いろんな角度で今の若い目で石巻を見つめてほしいなと思う。私は石巻はとてもおもしろい街だし、おもしろいことができる街だと思っている。

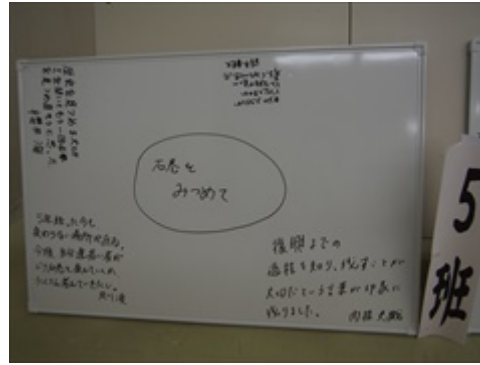
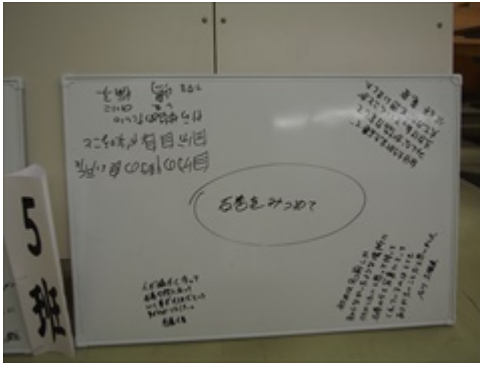
長浜の写真。海水浴場の写真。ゴミがあふれている。どうにかしたいという思いがあるが、どうしたら変えられるのかなと思っている。若い人たちの力に期待したいと思っている。

5 全体学習【20分】担当：三浦



【班の意見の共有】





班ごとに学んだことのシェアをした。班ごとにホワイトボードに鈴木省一氏の講演「石巻をみつめて」を通して思ったこと感じたことを書き記した。書いた内容を班内で発表し、自己紹介とともに意見交流を行った。指導委員の見守る中、発表した塾生に対して、拍手で支える姿勢は仲間意識を生み出す温かいものとなった。「もう少し石巻をゴミのないきれいな場所にしていきたい」「石巻をおもしろい場所にしていきたい」という塾生の声は、鈴木氏の講演に啓発された意見が堂々と発表されていた。

6次回予告【5分】

第2回（6/25）・第3回（7/16）

第2回は、6月2日石巻駅前に集合し、あいさつ・清掃・ゴミ拾い活動を行う。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

平成28年度の活動

第1回

第2回 実践活動

第3回

第4回 実践活動

第5回 実践活動

第6-7回 宿泊研修

第8回

第9回 実践活動

第10回

第11回

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動

平成24年度の活動

報道・受賞

